



島教協

# 《すべては「子どもたちのために」》 情 報

http://www.kyougikai.org

E-mail  
office@kyougikai.org

〒693-0011 出雲市大津町2214 Tel/Fax:0853(22)7762 代表者 吉田 修 編集人 田中 勝 No.678

## 島教協 第五十六回 定期総会開催

五月二十八日（土）、ビッグハート出雲にて第五十六回島教協定期総会を開催しました。



来賓として、鴨木朗 島根県教育長様、杉谷 学出雲市教育部長様、高見康裕県議会議員様、古川俊裕全日教連副委員長様、小坂朝之 山口県教連委員長様を

迎え、多数の代議員・オブザーバーの出席を得て、盛大に執り行いました。

冒頭、吉田修会長は、プロ野球の松阪投手ほか有名な選手を多数輩出した横浜高校の渡辺元監督の座右の銘を引き合いに、「私たち島教協も、教育は国作り、まっとうな教育をして、まっとうな人を育て、まっとうな国を作っていくんだという覚悟を持って日々の一歩を踏み出していこうではありませんか。目の前の子どもたちが人生の勝手者となれるよう、がんばっていきましよう。島教協は会員一人一人が安心して、そして存分に目の前の子どもたちのために力が発揮できるように、今年も活動を推し進めていきます」とあいさつをされました。

議事に先立ち、長年島教協の役員として組織の発展に寄与された、前副会長の佐野美保さんへ感謝状を贈呈しました。



島根県教職員協議会

その後、議長に川上恭司さん（塩冶小）、記録に曾田博美さん（今市小）、議事録署名に増岡光子さん（川跡幼）を選出し、十七年度決算・二十八年年度の活動方針活動計画・予算・熊本地震災義援金について、慎重に審議され、全て原案通り承認されました。

職員団体としては、会員がたくさん所属していることが重要であり、新規会員の獲得に向けて、学校現場での積極的な勧誘活動が必要です。

議事の中でも、この勧誘についての質問がありました。未加入の方は職員団体の活動と必要性の認識が薄いが、粘り強く働きかけていくことを確認しました。



### 熊本地震に義援金

四月に発生しました熊本地震に対し、被災地の復興と学校を始めとする避難所の運営、子どもたちの学校生活や学習活動を日常に戻すために必要な財政的支援につなげるために、熊本県への義援金を行うとの全日教連の要請に協力することとし、基金積立金の中から3万円を拠出する案件が定期総会で承認されました。直ちに全日教連を通して寄付をしました。

会員の皆様におかれましては、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

### 来賓祝辞



島根県教育長 鴨木 朗 様

今年度、教育長メッセージの中で優先順位を上げてお話ししたことのひとつが、「教職員の健康管理」についてであります。

教職員のワーク・ライフ・バランスを図っていくことは、島根の子どもたちに質の高い教育を提供するための基盤ではないでしょうか。任命権者の立場にある県教育委員会から市町村教育委員会及び小中学校の校長先生に対し、次のようなお願いをしています。

一つは長時間勤務の縮減対策、もう一つは定期健康診断後の精密検査受診勧奨について、特に積極的な取り組みをお願いしました。また、労働安全衛生法に基づく衛生委員会等を積極的に活用し、学校の管理職・教職員・学校管理医がよく話し合うことを通じて、改善に向けた一歩を進めていただければ、ご配慮をお願いしたところであります。

私は、任命権者と職員団体との関係は、労使交渉の当事者同士という立場にあることを大前提にしなければならぬと思っていますが、そのことに加えて、現場と教育委員会との間の双方のコミュニケーションを構成する貴重なチャンネルでもあると思っています。現場の実情や課題をお聞かせいただきたい。その上に立って県教育委員会の仕事の在り方を考えていきたい。これが、本日、皆様に率直にお伝えしたいことであります。

出雲市教育部長 杉谷 学 様



今日の学校教育は、子どもたちの生きる力を育むという理念のもと、様々な取り組みがなされており、国においては学習指導要領の改訂に向けた本格的な検討も始まっています。全ての学校のコミュニティスクール化など地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方も議論されているところがあります。子どもたちを取り巻く環境が大きく変化している中、学校現場におきましても、いじめ・問題行動・不登校等への対応、学力の向上に向けた取り組み、子どもたちの安全確保など多くの課題が山積しています。

このような中、皆さんは、子どもたちのため日々の教育活動に務められるとともに、島根県教職員協議会の活動を通して研究実践に取り組まれ、学校教育推進の中心的存在として活躍されていることに心から敬意を表します。

市教委としても、諸課題に対応するため様々な施策を展開していますが、このような取り組みは、学校現場で直接子どもたちを指導している教職員と連携強化を図りながら共に推進していくことが重要です。

未来を担う子どもたちの育成のため、皆様の更なるご理解とご協力をいただき、より良い教育に向けて邁進していきたくと思います。

市教委としては、県教委と市教委との役割分担の中で、先生方を応援する、そして子どもたちに対しての教育に先生方がしっかりと向かい合って実践していただく環境作りを取り組んでいきたいと考えています。

皆さんも国の動きとか市の取り組みについてご理解ご協力いただき、一緒になって子どもたちを健やかに成長させていただくことにご尽力を賜りたい。

島根県議会議員 高見康裕 様



教育は子どもたちの成長のためにあるべきだという当然のあるべき姿でありますが、戦後、イデオロギー等に囚われる勢力や経緯の中にあつて、子どもたちのためにを貫いてこられた教職員協議会の活動に敬意を表します。

議員になる前、学習塾を運営する中で、これからの島根の、日本の未来を考えると、子どもたちの教育が一番大事だと思うに至り、そのためには政治の力も必要であると思ひ、県議会議員となり、県議会でも教育を一番に取り組まさせてもらっています。昨年度秋田県を視察し、県教委に対しても様々な政策提言をさせていただきました。

今まで政治は、教育との距離は必ずしも近くなかったのかなと思つていますが、一番大事なのは教育現場で一番奮闘されている先生方の声が届くものにならないといけないと思つています。学力向上もそうですが、忙しすぎる先生方の負担の軽減についても、これから県でできることをわたくしは提言していきたくと思います。

全日教連副委員長 古川俊裕 様



現在の学校現場では、道徳の教科化、小学校英語の教科化、アクティブラーニングの推進、チーム学校の構築など多岐に亘る教育改革への対応が求められています。一方で深刻ないじめ等を背景とする児童生徒の自殺や、少年犯罪、不登校、貧困の連鎖など、様々なことが社会問題化されています。

我が国の将来を担う子どもたちの健全な成長のために必要なことは、子どもたちの現状と学校現場の実態をしっかりと検証し、必要とされる教育活動が、子どもたちの視点で実効性を持つための

教育環境の整備充実を最優先に果たすことです。子どもたちのためにやるべきことができる環境のなかで、私たちは最大限の努力を惜しみはしないでしょう。学校が夢あふれる場所となり、保護者や地域の確かな信頼を得ることにつながるかと信じ、自らの資質能力を磨き続けることでしょうか。

全日教連は今年度も誇り高く良識ある教職員団体として法を遵守し、まっとうな活動を推進します。そして「美しい日本人の心」を育てるといふ理念を共有する島教協と手を携え、子どもたちのため、我が国に正しい教育に情熱を燃やす教職員とともに、日本の教育正常化の道を推進します。

山口県教連委員長 小坂朝之 様



「美しい日本人の心」を育てる教育の正常化を目指している団体は、正しい道を進んでいるという誇りを持って、力を合わせてがんばっていきたくと思つています。

歴史的な部分も大事ですが、現在の教育は六十年前と比べ、偏向教育はかなりの影を潜めてきたかもしれないが、ただ現場は大変な多忙化を極めてきているのではないかと思います。

出雲市のある小学校では、日本語指導が必要な外国籍の児童が数十人在籍していると聞き、驚きました。私も以前ブラジル籍の子を一人受け持ち大変な経験をしましたが、ークラスに何人もいる現状があれば、担任の先生はとても大変だろうなと思ひます。

それぞれの他県の状況は、こういう場、こういう活動をしているからこそ、情報交換ができます。情報交換をしながら、日本の全ての子どもたちが平等な教育が受けられるよう形になればいいなと、そういう意味で島根県と山口県は、これからも力を合わせていけたらいいなと考えています。

山口県では、今年度は中四国ブロック会議、来年度は教育研究全国大会を開催します。時間が許せば、たくさんの方に参加していただき、交流ができればと思います。

# 教育講演会 開催

講師 親野智可等先生

五月二十二日(日)、ビッグハート出雲にて教育講演会を開催しました。

『「子どもを伸ばしたい!」そのとき教師にできること』を演題に、先生の豊富な経験から子どもを理解するための方策についてのお話を伺いました。

○ 子どもを叱り続けることによる二つの弊害  
・否定的に言うこと、自己肯定感が持てなくなり自己イメージが悪くなる。  
・素直になれなくなり、相手に対する不信感が増し、ますます効果がなくなる。

○ 叱らなくても済む、言葉の工夫  
・否定語をやめ、プラスイメージの言い方  
・取りあえず褒める  
・共感する

いろいろな場面で共感を最優先すると、子どもは信頼し、素直になる。共感を意識すること

○ 男の子脳と女の子脳  
男の子脳の度合いが高いほど、育てにくさにつながっているが、コインの裏表で、やがて良いものに切り替わる。

○ 子どもの特性を理解し、自己肯定感を持てる人に育てることの大切さを、講師の体験を交え、分かりやすいお話で、すぐに実践に活かすことができる参考になる講演でありました。

# 全日教連情勢報告

全日教連副委員長 古川俊裕氏

組織加入のメリットは、学校現場の先生方の声をしっかりと届けることができる、まっとうな教職員団体が島教協であり全日教連であります。島教協は基本的に、県または市にしっかりとした交渉・要望・提言を行います。全日教連は、様々な地域の方が集まり、全国の先生方の現場の実情をしっかりと踏まえて、全国的な教育の水準の維持向上や、正常化に向けての仕事をしております。

もし、島教協や全日教連という組織がないと、財務省とかの言いなりになります。近いところでは、小学校一年生の四十人学級に復活とか、昨年の加配定数の削減とか、現場を知らない人達の財政的な面だけの論議で先生の人数を減らそうという暴挙になります。それを止められるのも、全日教連とかのまっとうな職員団体でありませぬ。教育現場に熱い思いがあっても、職員団体がなければできません。そういうところで、島教協・全日教連の強化・拡大があります。

昨年度、財務省への要望で、はじめて主計官に直接学校現場の声を届けることができました。いじめの撲滅に向けては、学校現場の人員配置をしっかりと訴えていきます。特別支援教育については、子どもたち一人一人を輝かせられるように、学校に人がいない状況を伝え、人員配置を訴えていきます。

基礎定数から人が減らされ、さらに加配定数も減らされると、学校現場からはいまより、人が減らされるのが予想されます。全日教連は、三十五人以下学級編制を推し進めているので、小学校段階でも、二年から六年までを三十五人学級編制を国がきちんとやる計画を示し、加配も教育課題で施策として、増やしていただく



全日教連は、三十五人以下学級編制を推し進めているので、小学校段階でも、二年から六年までを三十五人学級編制を国がきちんとやる計画を示し、加配も教育課題で施策として、増やしていただく

## 全日教連団体総合共済会からのお知らせ

### 積立年金制度のご案内

全日教連団体総合共済会は、毎月無理のない金額を積立てることにより、将来の公的年金を補完する「積立年金制度」を取り扱っています。

もちろん、途中で教育費や住宅取得費など急に資金が必要なときは、途中払い出しもできます。

積立は、1口月払い1,000円で2口から、また積立額の変更も年2回できます。

将来の生活設計を今一度真剣に考えてみませんか。

### 訴訟費用保険のご案内

近年、民事訴訟で職員個人が訴えられるケースや、職員の行為に関する住民訴訟が増加しています。

全日教連団体総合共済会の「訴訟費用保険」は、業務上の行為に起因する訴訟が提起された場合、会員の皆様が負担される訴訟費用と法律上の損害賠償金について保険金をお支払いする制度です。

この保険の月払掛金は、400円です。

加入募集は年2回。10月加入(申込〆切6月末)と4月加入(申込〆切12月末)。

よう訴えていきます。全日教連加入のメリットである、団体総合共済会について説明します。「積立年金制度」はとても安心できるものです。ポイントは予定利率がよいところですが、「訴訟費用保険」については、昨年度までは月の掛金を五百円としていましたが、スケールメリットで、今年度は四百円に引き下げることができました。同様の他の保険では個人で加入すると千円くらい、他の団体でもここまでの安くて保障のよい保険はありません。新規加入のツールにしていただければと考えると

詳しくは、事前配布のチラシやパンフレットをご覧ください。

# 全日教連 第33回教育研究全国大会(栃木大会)

開催日 : 8月6日(土)~7日(日)

大会会場 : 栃木県宇都宮市 ホテル東日本宇都宮・栃木県教育会館大ホール

大会主題 : 今を生き抜き未来に生きる力を育む教育実践

~主体的にたくましく学ぶ子供の育成を目指して~

記念講演 : 講師 書道家 武田双雲 氏

演題 「人生が変わる ~言葉の力・書の力~」

分科会提案発表 : 島教協担当 第1分科会「学習指導A」

提案者 : 岡 利行 教諭(出雲市立朝山小学校)

提案テーマ : 「ふるさと教育」を基盤に据えた教育活動

旅程(2泊3日)

8/5(金) 出発(飛行機利用) 午後は観光も可能です

8/6(土) 教研大会1日目 9:00~17:20

(分科会A・分科会B・助言者ゼミナール)

8/7(日) 教研大会2日目 9:00~12:10(全体会・記念講演)

帰着(飛行機利用)

参加費 : お一人10,000円程度を予定

(交通費、宿泊費、食費込み)

教研大会の詳細や申し込み方法については、別途配布の文書をご覧ください。

参加申込の〆切 6月29日(水)



## 教研大会プレ発表会のご案内

栃木大会に参加できない方や提案発表者のリハーサルとして、プレ発表会を行います。プレ発表会へたくさんの参加をお願いします。詳細は別途配布の文書をご覧ください。

日時 7月24日(日) 10:00~11:30

会場 ビッグハート出雲 茶のスタジオ

### 島教協相互援助規定のご紹介

- ①結婚祝金の給付 5,000円
- ②出産祝金の給付 5,000円
- ③永年勤続祝金の給付 5,000円
- ④病氣見舞金の給付 5,000円  
(傷病約1ヶ月の療養)
- ⑤災害見舞金の給付  
(住宅又は家財の損害を受けたとき  
程度に応じて)
- ⑥死亡弔慰金  
(会員・会員配偶者死亡)

上記の規定に該当するときは、  
ご本人または学校代表は、  
事務局まで連絡をお願いします。

電話0853-22-7762

### 島教協会員証特典のご紹介

「T・ジョイ出雲」(ゆめタウン  
出雲東館3階)劇場売店にて

島教協会員証を提示すると

売店人気ナンバー1の  
ポップコーンセット  
(通常750円)を  
ワンコイン(500円)で  
購入できます!

ぜひ、  
劇場売店へお立ち寄りください。  
同伴者も同様の対応ができます。

歓迎!新規加入者

嘉本 瞳さん(出雲市・荏原小)  
和田 実穂さん(出雲市・神門幼)

よりよい教育環境をめざす島教協の仲間  
とともに、固く手を取り合って、ともに健全な教育  
実践に邁進していきましょう。

